

平成 30 年度

事業報告書

自：平成 30 年 4 月 1 日

至：平成 31 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

目 次

I	事業概要	1
II	事業の実施状況	1
1	助成事業	1
(1)	研究助成事業	1
(2)	シンポジウム開催等助成事業	1
(3)	奨学助成事業	2
2	情報収集、提供	2
(1)	ホームページによる情報提供	2
(2)	研究成果報告書の発刊	2
3	調査研究事業	3
(1)	民間からの受託事業	3
III	管理運營業務	3
1	会議の開催	3
2	平成 30 年度主要業務	3
IV	組 織	3
V	付属証明書	3
(資料)		
別紙 1	平成 30 年度 (第 25 回) 研究助成金交付対象者	4
別紙 2	平成 31 年度 (第 26 回) 研究助成金交付対象者	6
別紙 3	平成 30 年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	8
別紙 4	平成 31 年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	9
別紙 5	公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ コンテンツ	10
別紙 6	平成 30 年度主要事業記録	11
別紙 7	組織	12

平成 30 年度 事業報告書

I 事業概要

平成 30 年度の助成事業については、平成 29 年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、東南アジアから日本への留学及び日本の研究者の海外への留学に係る奨学助成事業を実施した。

情報提供事業については、食品添加物その他食品化学に関する情報の収集とホームページ上での情報提供を平成 29 年度に引き続き実施した。

調査研究事業については、公的・民間からの受託事業として、日本に新たに申請する添加物の安全性調査事業を受託した。

II 事業の実施状況

1 助成事業

(1) 研究助成事業

1) 平成 30 年度研究助成

平成 30 年 3 月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象者 29 件に対して、同年 5 月、研究助成金（総額 2,200 万円）を交付した。
（交付対象者及び助成額は「別紙 1」のとおり）

2) 平成 31 年度研究助成選考

① 募集公告

平成 30 年 9 月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある専門誌（日本食品化学学会誌等 8 誌）及び関係学会（日本食品化学学会等 10 学会）のホームページに同募集公告の掲載を依頼すると共に、30 年 10 月本財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

② 研究課題

平成 29 年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）とに分けて助成申請の募集を行った。

③ 申請受付

平成 30 年 11 月 15 日～平成 31 年 1 月 15 日の 2 か月間、助成申請を募集し、61 件（一般研究 31 件、課題研究 30 件）の申請を受理した。

④ 選考委員会審査

平成 31 年 3 月 7 日開催の第 20 回選考委員会において審査を行い、一般研究 18 件、課題研究 10 件の助成対象候補を決定した。

⑤ 理事会決定

平成 31 年 3 月 11 日開催の第 36 回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、28 件（総額 2,180 万円）の研究助成金交付を決定した。
（交付対象者及び助成額は「別紙 2」のとおり）

(2) シンポジウム開催等助成事業

1) 平成 30 年度前期（平成 30 年 4 月～9 月）

平成 30 年度研究助成と並行して、前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、平成 30 年 4 月、6 件に助成金（総額 150 万円）を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

2) 平成30年度後期(平成30年10月～平成31年3月)

平成30年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。

平成30年7月1日～31日の1か月間募集を行い、平成30年8月31日開催の第18回選考委員会で選考を行い、9月14日開催の第34回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、2件に助成金(総額75万円)を交付した。

(交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり)

3) 平成31年度前期(平成31年4月～9月)

平成31年度研究助成と並行して、平成31年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、2件(125万円)の助成を決定した。

(交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり)

(3) 奨学助成事業

1) 平成30年度

平成30年度は、平成28年度の交付開始から3年目となる。

平成30年度は、平成29年度において助成決定された海外からの日本への留学生1名及び日本から海外への留学生2名、計3名について助成(総額250万円)を行った。

2) 平成31年度

平成30年9月15日～10月31日の1か月半の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係団体ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。

その結果、海外からの日本への留学生1名の申請があった。

12月11日に開催された第19回選考委員会で審査のうえ、助成候補者を決定した。

選考委員会が選考した助成対象候補者について、12月27日開催の第35回臨時理事会で審議を行い、申請者1名に対する助成(総額80万円)を決定した。

2 情報提供事業

(1) ホームページによる情報提供 (<http://www.ffcr.or.jp/>)

平成10年4月にホームページを開設し、食品添加物その他食品化学に関する内外の情報を収集・整理し提供しており、平成30年度から全面更新の新ホームページに移行した。

平成30年度は、随時より利用しやすいホームページへの改良を行い情報の更新や、内容の充実を図った。

掲載情報の内容については、「別紙5」のとおりである。

(2) 研究成果報告書の発刊

平成29年度の研究助成者から提出された研究報告書を取りまとめた「公益財団法人日本食品化学研究振興財団 第24回研究成果報告書」を、平成30年12月17日刊行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省及び附属研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

3 調査研究事業

(1) 民間からの受託事業

公的及び民間企業より委託を受け、新規4食品添加物について、安全性に関する調査を行い、報告書を取りまとめた。

III 管理運営業務

- 1 会議の開催
 - ・理事会 5回 (定時理事会2回、臨時理事会3回)
 - ・評議員会 1回 (定時評議員会1回)
 - ・選考委員会 3回

2 平成30年度主要事業

平成30年度の主要事業については、「別紙6 平成30年度主要事業記録」のとおりである。

IV 組織

平成30年度末における本財団の組織については、「別紙7」のとおりである。

V 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

平成30年度（第25回） 研究助成金交付対象者

1: 一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
武庫川女子大学生活環境学部 教授 義澤 克彦	既存添加物キトサンの抗酸化作用に関する応用研究	55
国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 部長 出水 庸介	化学合成による既存添加物の定量用標品および内部標準物質の供給に関する研究	100
大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 魏 民	食品添加物の安全性評価のためのヒ素発がん機序の解明	65
国立感染症研究所ウイルス第二部 主任研究官 渡土 幸一	フラボノイド含有食品添加物の肝炎ウイルス感染予防に関する研究	65
国立医薬品食品衛生研究所変異遺伝部 室長 杉山 圭一	新規エピジェネティック変異原検出系を用いた食品添加物の安全性評価	90
千葉大学大学院理学研究院化学研究部門 教授 坂根 郁夫	食品添加物ミスチン酸摂取による2型糖尿病リスク低減	75
国立医薬品食品衛生研究所食品部 部長 穂山 浩	新規誘導体化試薬「Py-Tag」を用いた魚および水産加工品中の不揮発性アミン類分析法の開発	110
東京農業大学応用生物科学部 准教授 岩槻 健	新規サル消化管オルガノイドを用いた食品添加物が消化管上皮に与える影響の解析	85
大阪大学総合学術博物館資料基礎研究系 特任助教 高浦 佳代子	安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ: アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	50
立命館大学薬学部臨床分析化学研究室 准教授 井之上 浩一	毒キノコ成分のプロファイリングと化学分析のための標準品作製	60
国立水俣病総合研究センター基礎研究部衛生化学研究室 主任研究員 永野 匡昭	魚食からのメチル水銀曝露を想定した低濃度メチル水銀曝露時の組織中水銀濃度に対するフラクトオリゴ糖および小麦ふすまの影響に関する基礎的研究	60
国立医薬品食品衛生研究所生薬部 主任研究官 政田 さやか	機能性関与成分として使用されている食品添加物の実態調査研究	60
国立医薬品食品衛生研究所生化学部 室長 中村 公亮	遺伝子組換え食品検知に及ぼす食品添加物の複合影響に関する基盤的研究	110
立命館大学生命科学部生物工学科 教授 若山 守	加工食品中のアクリルアミド生成を効率的に抑制する乳酸菌アスパラギナーゼの開発と食品添加剤としての乳酸菌アスパラギナーゼの有用性を検証する	40
奈良女子大学大学院生活環境科学系生活健康学領域 教授 森本 恵子	甘味料(グルコース、スクラロース)の脂肪嗜好性調節作用の検討とその機序の解明	100
国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター病理部 主任研究官 高須 伸二	肝前がん病変の生物学的特徴を考慮したfuran類香料の肝発がん性評価の精緻化	90
国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 室長 大城 直雅	魚類食中毒シガテラの原因物質シガトキシン類分析のための標準試料作製検討	40

2: 課題研究

2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
京都大学大学院農学研究科 准教授 井上 善晴	キチンの異常蓄積を作用機序とする食品添加物 ε-ポリ-L-リジンの抗真菌活性発現機構の解明	90
修文大学健康栄養学部管理栄養学科 准教授 丹羽 利夫	ヒト由来クルクミン代謝菌の単離に向けた化学的アプローチ	85
岐阜大学応用生物科学部 教授 矢部 富雄	ペクチンの多糖構造と消化管機能調節機構の相関	85
静岡県立大学食品栄養科学部 助教 島村 裕子	細菌性スーパー抗原毒素の生体内影響の発現に対するポリフェノール系既存食品添加物の制御とその作用メカニズムの解明	85
岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 伊東 秀之	抗糖化作用を有するエラジタンニンの生体利用性に関する研究	90
東京農業大学応用生物科学部 助教 煙山 紀子	生活習慣病の分子標的制御に資する甘味料の効果とその背景機構に関する研究	90

2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京農工大学グローバルイノベーション研究院 准教授 村岡 貴博	タンパク質食材の安定性を向上させる新規食品添加物の開発	90

2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
千葉大学大学院薬学研究院 助教 植田 圭祐	アミロースの立体構造制御による香気成分の放出制御及び固体NMR測定を利用した放出制御機構の解明	75
山口大学大学院創成科学研究科 教授 松井 健二	植物由来香料成分相互作用蛋白質の同定とその香料安定化効果の検証	50
大妻女子大学家政学部食物学科 教授 堀江 正一	精油中に含まれるフラノクマリン類の分析と品質評価	60
九州大学大学院理学研究院化学部門 准教授 村山 美乃	熟成古酒からの劣化臭除去に向けた金ナノ粒子の吸着特性の解明	60

2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京大学大学院農学生命科学研究科日清食品 寄付講座「味覚サイエンス」 特任教授 朝倉 富子	表面筋電図法を用いた飲み込みやすさの客観的評価方法の確立と嚥下調整食開発への応用	85

課題研究 12件 945万円
合 計 29件 2,200万円

平成31年度（第26回） 研究助成金交付対象者

1：一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
国立医薬品食品衛生研究所有機化学部 部長 出水 庸介	既存添加物の定量用標品および内部標準物質の合成に関する研究	60
愛媛大学理学部化学科 教授 長岡 伸一	食品における酸化防止剤の能力を評価する方法の実用化に向けた発展研究	60
九州大学大学院薬学研究院生薬学分野 助教 坂元 政一	バイオインプリンティング技術を用いたグリチルリチンのハイスループット分析法の開発 ～日本薬局方規格基準の甘草の育種研究に向けて～	60
立命館大学薬学部臨床分析化学研究室 准教授 井之上 浩一	毒キノコ成分のプロファイリングと化学分析のための標準品作製	110
国立医薬品食品衛生研究所食品部 部長 穂山 浩	新規誘導体化試薬「Py-Tag」を用いた魚および水産加工品中の不揮発性アミン類分析法の開発	120
大阪大学薬学研究科毒性学分野 荣誉教授 堤 康央	食品・食品添加物の品質保証に関する薬学研究教育の実態調査	90
岐阜大学大学院連合農学研究科 博士課程 兼 学術研究員 山下 寛人	茶樹の遺伝資源を利用したテアニン増強育種法および生産技術の開発	70
東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科 准助教 岩槻 健	新規サル消化管オルガノイドを用いた食品添加物が消化管上皮に与える影響の解析	120
名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授 廣明 秀一	植物由来アントシアニン系色素の腸管タイトジャンクションに対する影響	60
三重大学大学院生物資源学研究科 准教授 柴田 敏行	新規エキソ型アルギン酸リアーゼを活用した新しいアルギン酸定量法の開発	90
大阪大学総合学術博物館資料基礎研究系 特任助教 高浦 佳代子	安全・高品質な国産サフラン生産拡大のためのアクションリサーチ:アグリセラピーへの応用と地域健康力の向上	60
奈良女子大学大学院生活環境科学系生活健康学領域 教授 森本 恵子	甘味料（グルコース、スクラロース）の脂肪嗜好性調節作用の検討とその機序の解明	120
北海道大学大学院農学研究院細胞組織生物学研究室 准教授 小林 謙	妊娠期における非糖質系甘味料の摂取が乳腺発達と分娩後の乳産生に及ぼす影響	90
京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻 准教授 井上 善晴	食品添加物 ϵ -ポリ-L-リジンの抗真菌活性発現に関わる新しいシグナル伝達経路の解明とアクチン細胞骨格に及ぼす影響	120
北海道大学大学院水産科学研究院教授 細川 雅史	食品添加物カロテノイドによる炎症抑制作用と慢性腎症予防効果に関する研究	60
筑波大学医学医療系分子発生生物学教室 講師 小林 麻己人	各種食用天然色素がもつNrf2活性化能と機能性・安全性の動物モデルを用いた測定比較	60

東京電機大学理工学部生命科学系 准教授 武政 誠	食品多糖類による食品3Dプリンタ用フードインクの力学 特性改質と造形精度向上	80
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 教授 松浪 勝義	天然由来食品添加物のゼブラフィッシュを用いた安全性 評価	60

一般研究 18件 1,490万円

2：課題研究

2-1 食品添加物の体内動態及び生体に対する影響に関する研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 伊東 秀之	抗糖化作用を有するエラジタンニンの生体利用性に関する研 究	90
日本医科大学微生物学・免疫学教室 講師 若林 あや子	ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損 傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討	80
島根大学医学部免疫学講座 講師 小谷 仁司	抗癌剤治療時におけるアルギニン摂取の重要性検証と体内動 態・組織分布評価	60

2-3 各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物及び食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
東京農工大学大学院工学研究院生体機能 科学部門 助教 福谷 洋介	哺乳類嗅覚応答システムを模倣したフレーバー客観的評価技 術開発	60
東北大学大学院工学研究科附属超臨界溶 媒工学研究センター 助教 大田 昌樹	常温付近の温度帯を用いる新しい香気成分の分離装置の開 発	80
九州大学大学院理学研究院化学部門 准教授 村山 美乃	熟成古酒からの劣化臭除去に向けた金ナノ粒子の吸着特性の 解明	80

2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
大阪府立大学大学院理学系研究科生物科 学専攻 教授 原 正之	高齢者に適した食品用ハイドロゲルの研究	60
武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学 科 助教 中村 衣甲	大豆タンパク質にアミノ酸栄養強化剤を添加した高齢者・病者 向けプロテイン飲料の開発	60
高知大学教育研究部自然科学系 教授 河野 俊夫	セルロースを活用した高齢糖尿病患者向け新食感和菓子に関 する研究	60

2-6 食品化学分野における代替タンパク質(Alternative Protein)の特性、機能、安全性等の研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
宮城大学食産業学部フードビジネス学科 教授 金内 誠	小麦グルテンの代用とする疎水タンパク質ハイドロフォビンの食 品応用について～起泡性を利用した製パンへの応用～	60

課題研究 10件 690万円
合計 28件 2,180万円

平成30年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
大阪医科大学小児科学教室 教授 玉井 浩 講師 瀧谷 公隆	日本ビタミン学会 第70回大会	15
第23回国際植物脂質シンポジウム組織委員会 (埼玉大学 教授) 西田 生郎	第23回国際植物脂質シンポジウム(ISPL2018)	15
日本食品化学学会 (国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 部長) 佐藤 恭子	日本食品化学学会 第24回総会・学術大会	50
日本栄養・食糧学会 (岡山県立大学 学長 兼 理事長) 辻 英明	第72回日本栄養・食糧学会大会	20
日本食品衛生学会 公開シンポジウム 実行委員長 高野 伊知郎	平成30年度日本食品衛生学会 公開シンポジウム テーマ「食品安全性評価のための細胞培養技術」	20
日本フードファクター学会 日本ポリフェノール学会 日本カテキン学会 (神戸大学大学院農学研究科 教授) 芦田 均	3学会合同学術集会 第23回日本フードファクター学会 第12回日本ポリフェノール学会 第15回日本カテキン学会	30

小 計 150万円

(後期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
植物化学研究会 (国立医薬品食品衛生研究所副所長) 合田 幸広	第55回植物化学シンポジウム	25
日本食品化学学会 (国立医薬品食品衛生研究所部長) 穂山 浩	第34回食品化学シンポジウム 「食品行政をめぐる諸課題とその動向について」	50

小 計 75万円

合 計 225万円

平成31年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本食品衛生学会 公開シンポジウム 実行委員長 高野 伊知郎	2019年度日本食品衛生学会 公開シンポジウム テーマ「食品安全へのアプローチ～リスクコミュニケーションとサンプリング」(仮)	25
信州大学 理事・副学長 中村 宗一郎	日本食品化学学会 第25回総会・学術大会	100

合 計 125万円

公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ [\(https://www.ffcr.or.jp/\)](https://www.ffcr.or.jp/)
コンテンツ

(1) 食品添加物関係情報

①食品添加物リスト

指定添加物リスト、既存添加物リスト、天然香料基原物質リスト（和、英）
安全性審査の手続きを経た遺伝子組換え添加物一覧
食品添加物使用基準リスト（和、英）

②食品添加物の規格

第9版 食品添加物公定書（日、英）
新・改正食品添加物基準

③新食品添加物の指定

食品添加物の指定及び使用基準改正に関する指針（和、英）
食品添加物指定等要請資料作成の手引き（和、英）
国際的に安全性が確認され、かつ汎用されている添加物の取扱いについて
国際的に汎用されている香料の安全性評価の方法

④食品添加物の安全性

食品添加物のJECFAによる安全性評価
既存添加物の安全性評価、食品添加物一日摂取量調査 等

⑤外国の食品添加物

諸外国の食品添加物

⑥食品添加物の表示（消費者庁へのリンク）

⑦参考図書

(2) 残留農薬関係情報

①残留農薬ポジティブリスト制度（和、英）

②基準値一覧表、食品分類表 等

③抗生物質、合成抗菌剤

④除外物質一覧表

⑤試験法

⑥食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

(3) 「容器・包装」「食品中の化学物質」関係資料

(4) 研究助成成果報告

公益財団法人日本食品化学研究振興財団研究成果報告

(5) 厚生労働省食品化学情報

(6) 食品安全委員会情報

平成30年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
平成30年4月20日	第32回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成29年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、他
平成30年5月14日	第25回研究助成金贈呈式（於：リーガロイヤルホテル）
平成30年5月24日	第10回定時評議員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成29年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・監事の選任に関する件、他
平成30年7月1日	平成30年度（後期）シンポジウム開催等助成申請の受付（7月中）
平成30年8月7日	第33回臨時理事会（書面表決） ・助成対象調査研究分野の課題研究の追加に関する件
平成30年8月31日	第18回選考委員会（書面表決） ・平成30年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
平成30年9月14日	第34回臨時理事会（書面表決） ・平成30年度（後期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・選考委員の選任に関する件
平成30年9月15日	平成31年度奨学助成申請の受付（10月31日まで）
平成30年10月12日	新規食品添加物3品目に係る指定要請に向けた調査研究を受託
平成30年11月15日	平成31年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付 （平成31年1月15日まで）
平成30年12月11日	第19回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成31年度奨学助成対象の選出に関する件 ・奨学助成募集要項の一部改正に関する件
平成30年12月17日	研究成果報告書（第24回・平成29年度）刊行
平成30年12月27日	第35回臨時理事会（書面表決） ・平成30年度奨学助成対象の決定に関する件、他
平成31年3月7日	第20回選考委員会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成31年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
平成31年3月11日	第36回定時理事会（於：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社本社） ・平成31年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・平成31年度研究助成対象及び（前期）シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・代表理事職務執行状況の報告、役員の方募、他

組 織

1 役員

理事長	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 会長兼社長
専務理事	入村 和子	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	安達 修二	京都学園大学バイオ環境学部食農学科 教授
〃	一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問
〃	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
〃	神崎 浩	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
〃	黒川 達夫	日本OTC医薬品協会 理事長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 副社長
〃	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
〃	下村 講一郎	東洋大学大学院生命科学研究科 特任教授
〃	伏木 亨	龍谷大学農学部 教授
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	妙中 茂樹	妙中公認会計士事務所 公認会計士

2 評議員

〃	浅井 以和夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役執行役員
〃	久保田紀久枝	お茶の水女子大学 名誉教授
〃	中江 大	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	中垣 俊郎	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学生生活環境学部 教授
〃	山崎 裕康	神戸学院大学薬学部 教授
〃	山元 弘	大阪大学 名誉教授

3 選考委員

〃	伊藤 美千穂	京都大学大学院薬学研究科 准教授
〃	井部 明広	実践女子大学生生活科学部 教授
〃	今井田 克己	香川大学医学部 教授
〃	梅村 隆志	ヤマザキ動物看護大学動物看護学部 教授
〃	小関 良宏	東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 副所長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 誠	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	吉田 易範	厚生労働省医薬・生活衛生局 食品基準審査課長

4 事務局

〃	田邊 伸也	事務局長
〃	中村 明淑	
〃	立花 ゆかり	
東京分室	高山 昌也	顧問
〃	鵜狩 真理子	